

地域の足を支える バスの運転手が不足しています

路線縮小

バス減便

■問合せ 有限会社下段モータース (☎23-2630)
当別町公共交通活性化協議会 (企画課企画係内・☎23-2393)

全国的にバスの運転手不足が問題になっていることはご存知でしょうか？札幌市も例外ではなく、運転手の不足により、バスの減便や路線の縮小が行われています。

当別ふれあいバスでも、適切な運転手の数を確保することが難しくなっています。当別ふれあいバスは地域の足として多くの町民が利用しているため、運行が困難になると生活に大きな影響を及ぼすことが考えられます。

町内のバス運転手の現状



当別ふれあいバスの適切な運行体制を保つために必要な運転手の数は15名ですが、現在、運転手の数は14名であり、そのうち2名は他の業務と兼務しているため、路線バスの運転に専念できているのは12名だけとなっています。

また、12月1日現在の運転手の平均年齢は68歳となっており、高齢化が進んでいるのが現状です。

今年からバスの運転手になった方に話をお聞きしました

ーバスの運転手になろうと思ったきっかけは

定年退職後に当別町に移住し、バスを利用して駅や買い物に行っていました。そのバスの運転手が不足しているという広報誌の記事を見て、手助けになればと思い応募しました。私自身、バスの運転はしたことがありませんでしたが、免許取得費用の全額補助を受けられる制度を活用して教習所で運転技術を学びました。

ーやりがいとはどんな時に感じますか

乗客が降りる時に「ありがとうございます」と言ってくると、役に立っているという嬉しい気持ちとやりがいを感じます。

ーバスの運転に興味がある方へ一言

バスの運転は力仕事はほとんどなく、女性やシニアの方でも可能です。興味は少しでもある方は、ぜひ挑戦していただきたいです。

興味のある方は
こちらから↓



有限会社下段モータース
ホームページ



広告

広告